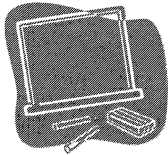


新しい薬学をめざして

Vol43 No.8
2014.10.1

発行 新薬学研究者技術者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8 E-mail shin-yakugaku@tea.ocn.ne.jp
(有)大阪ファルマプラン・あおぞら薬局 気付 郵便振替口座 01090-8-16463
TEL 06-6477-8080 (担当 稲垣) FAX 06-6477-8082 URL <http://pha.jp/shin-yakugaku/>



シンポジウム「骨粗鬆症薬を検証する」から

骨粗鬆症薬のエビデンスとガイドライン

—医薬品情報へのアプローチも含めて—

寺岡章雄

今年の新薬学者集団主催のシンポジウム「骨粗鬆症薬を検証する」は、「現状を明らかにし課題を整理する」とある。筆者が分担したテーマは骨粗鬆症薬のエビデンスである。

社会が薬剤師に期待するのは「医薬品の専門家」であり、エビデンスに基づく医薬品評価とその情報提供は、薬剤師にとって非常に重要な役割である。

本稿では、新薬などの有効性・安全性情報の把握と批判的吟味に役立つことも併せて記載したい。なお、本稿で紹介する各種情報源の Web ページには、インターネットの検索機能を利用してアクセスできると思われるので、その URL の記載は省略した。

医薬品情報へのアプローチ

臨床診療での薬剤選択につながる医薬品情報には、薬剤の「個々の論文」などの一次情報、個々の論文の確かなデータを総合した「システムティックレビュー」などの二次情報、さらに有効性・安全性に加え費用対効果なども総合した「臨床診療ガイドライン」、の各段階がある。二次情報の一種である医薬品承認審査公開情報も大いに参考になる。

1) 臨床診療ガイドライン

「臨床診療ガイドライン」は、臨床診療での薬剤選択にあたってもっとも手軽に参照できる情報であり、日本のガイドラインは「Minds (マインズ) 医療情報サービス」のサイトなどで調べることができる。今、ガイドラインには「エビデンスのレベル」「推奨のレベル」が記載されるのが普通になっている。

目次

□シンポジウム「骨粗鬆症薬を検証する」から 骨粗鬆症薬のエビデンスとガイドライン 寺岡章雄 …… 162	□集团的自衛権行使容認の閣議決定に反対する 平和の尊さを気づかされた1年 佐々俣巳 …… 174
□シグマネットから 世界の骨粗鬆症薬の潮流 遠藤浩良 …… 166	□女性が働くとき (3) 高学歴の非正規雇用とジェンダー 寺岡敦子 …… 176
□福島いま (その14) 安全性を示せない規制委員会決定 再稼働は無謀 佐藤政男 …… 168	□書籍 『(株) 貧困大国アメリカ』 三原啓子 …… 180
	□新薬学者集団第3回運営委員会の報告 …… 181